

いわき民報

発行所 平市田町63
©いわき民報社
61 村長 野沢武藏
電話(代表)4161
振替口座(郡山)4028



猛暑続きたに氷屋の底をつく

平市は断水の赤信号

狂った季節

八月末から連日三十度以上の猛暑続きた。この「狂った季節」に水と水の需要は急上昇を続け、水屋の営業は底をついて品切れ続出、水道は水圧低下して平市などは断水寸前のありさま。店舗は営業一掃から秋物準備にかかるがとんだ季節は、それのセールに声せいじでいる。

商店は季節はづれのセール

近く合併懇談会開く

平市 小川、好間に呼びかけ

平市振興特別委員会は5日午後二時半から議員室で開き、隣接町村の合併は緩が終じたといふ結論が採択された。これは西田町に対する合併候補がかなり二三百町に小川、好間、好間町に移ることとなり。この結果は、平市自効例市会開催決定され、行政協議会を開くことを決めた。これが西田町を訪問し、地元の第一次話し合いで、つまり三年前に西田町の糸口をほりいもので、こ

し尿処理 肥料15トンを契約

内郷市・郡山の販売会社と

内郷市富町東ヶ沢地区の市管轄区域から排出される化粧肥料は、一般農家に肥料土改改良肥料として二十キロ当り五百円で販売されており、販売会社と初めて十五トンの契約をいたるもので、同處理場がほりい日固めた。

小型消防ポンプ四台入る

めだつ第一組合結成

4月以降 タクシーカー会社は七つ

天氣予報

玉半提供

四月三日

四月四日

四月五日

四月六日

四月七日

四月八日

四月九日

四月十日

四月十一日

四月十二日

四月十三日

四月十四日

四月十五日

四月十六日

四月十七日

四月十八日

四月十九日

四月二十日

四月廿一日

四月廿二日

四月廿三日

四月廿四日

四月廿五日

四月廿六日

四月廿七日

四月廿八日

四月廿九日

四月三十日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

四月卅二日

四月卅三日

四月卅四日

四月卅五日

四月卅六日

四月卅七日

四月卅八日

四月卅九日

四月卅日

四月卅一日

即決主義であつせん

中卒者職業相談始まる

平職安所
平職安所は来春の卒業者
に対する出職相談会

10月4日から1ヶ月間
わたり、管内三千三百学
校で開く。管内求人は毎月二十日
ころまでに出そる、県外求人に
ついては十月三十日に県で最後の調
整が行なわれる。
上、真ちに求人のあっせんを行な
い、取次める即決主義で行なう
こととしている。相談会の日程は
次のとおり(カッコ内は就職希望
のままで出そる)。

(十五人)△二十七日 平一(五十二人)△十一月一日 萩原
四十一人)内郷三(七人)△三(四十六人)△同六日 大野(三十人)
十日 小川(二十六人)小玉(三十人)
三十人)△三十日 江名(

(五日午後一六日正午)六日
の小名浜は海上がじけた

市況

魚類

(単位:円)

内郷市社教委員会 内郷市社会教育
指導者研修会 地域社会教育について研究する
十九日午後一時から会議を開き
な講師は内郷長蔵田田原氏。

【江名港】水揚げなし
【中之井港】水揚げなし
【秋菊も所得倍増に一役】
め休まず。
【平市塙の農園芸試験場】
秋菊が今を盛りに咲き乱れ
だけの時代ではないとこれ
は石城地方の気候と土地にも
つとも適した三十数種を選び
農家所得倍増をねらうとの手
スト栽培。

●カレンは秋菊は自然とゆ
きといた手入れに見事な花
が開き、平等にケンを競って
いる。

【ケンを競う秋菊】
【みよし】平市じんがら
【栗屋の子】舗みよしでは栗屋
し半かん、栗屋の子を始めた。
【バーベで】平市田町べー
【喫茶始める】べべでは年前
八時から午後四時半まで喫茶部
を新設。

【金時別販売会】金時では六
月から日までタンポポ会特別販
売会を五階屋上で開く。

工場犬、番犬、愛犬スピツツの訓練は警備犬訓練所へ

公認

松本

勉

常磐市吹谷四三

訓練

所

へ

・湯の岳ケンネル

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

平職安内に座り込み

特別失対の賃金決まらず実力行使

内郷全 警官出動、ゴボウ抜き

金百円内郷分会の組合員約十人は特別失対に就労する場合の賃金はまだ未解約であるとして、四日午後一時から平職安で面交を開いたが結論が得られなかったため、同日午後五時過ぎから労働調査を席り込みを行なった。再びの退去命令に応じなかつたため、同日九時五十分ごく平署に出頭を要請、署員十人がきて次々と組合員をゴボウ抜きした。

失対業務は一般失対、特別失対、臨時労対策の三種類に分けて実施しているが、特別失対の場合には輪行(エンタ)付近に衝突、さら

が間に合わず、トラックの右前

をさせた。

舟遊びで幼児落ち水死

五日午後三時十分ごろ

勿来市植田佐藤林竹の花木、大

平職安勤務係藤二郎さんの長男

悦男ちゃん(四歳)は、近所の友達と

三人で同地内の鮫川(河口)岸に

つないだ小舟に乗って遊んで

いたが、悦男ちゃんは舟から川

に落ち水死した。

木政勇(関船字諱下)小松長

(一上川)芳賀鉄郎(藤原字

源内)渡辺兼五郎(上仲町)和

黒澤金三選ぶ

勿来市酒井町地区商店街四日

午後六時頃まで、規約算算事計画

会を開いて、規約算算事計画

金を國のため直下市理事者側で構

想を續っている。

市では独立農政課だけに委せるべ

き問題が生じて、近く市議

会議議会を開いて議題審(汚

水含む)対策委員会設け、万

人金を国へとお貸しするべ

きに、悦男ちゃんは舟から川

に落ち水死した。

勿来市酒井町地区商店街四日

午後六時頃まで、規約算算事計画

会を開いて、規約算算事計画

金を國のため直下市理事者側で構

想を續いている。

